

第3回 病理部会 議事録

日時：2011年1月22日(土) 17時00分～18時00分

場所：大阪アカデミア 2階

出席者(順不同、敬称略)：三好宣彰、野村耕二、難波裕之、鈴木学、下山由美子、阿野直子、江永真哉、寺澤義朗、山上哲史、(計9名)

委任者(順不同、敬称略)：尾崎清和(1名)

議長、書記：山上哲史(学会役職：理事、評議員、病理部会長)

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 報告事項

- (1) 学会雑誌に連載中の技術講座「病理検査をよりよく利用するために」の全5回分の原稿提出が完了し、病理部会としての連載協力が一旦終了となったことが報告された。
- (2) 学会雑誌に新たに連載される内科部会担当の[What is your diagnosis?]に関して、第一回原稿(内科部会：入江委員担当)の病理学的側面に山上部会長が原稿執筆協力し、すでに入稿したことが報告された。

2. 審議事項

- (1) 内科部会が担当する学会雑誌の連載[What is your diagnosis?]への今後の執筆協力について
表記内容に関して、第一回連載記事に関しては、当該症例の病理診断医が山上部会長であったため、執筆協力がスムーズであった。そのことを鑑み、第二回以降の原稿に関しても、内科部会執筆担当者から、当該症例の病理診断医に直接原稿執筆の協力依頼をして頂くようお願いすることが了解された。当該病理診断医に執筆のご協力が頂けない場合には、病理部会として対応することが了承された。
- (2) 病理部会としての学会企画への関与について
そもそも一般臨床獣医師の参加が主体である本学会において、病理学のみに関するセッションを設定しても、参加者にアピールすることは難しいであろう、との点において意見の一致をみた。ただし、内科部会等で顕微鏡セッションの企画があれば、検討症例の病理組織標本をご持参いただき所見解説等は可能であろうとの意見もあった。
- (3) 認定委員会からの依頼に関して
石田認定委員長からの依頼である、認定医試験ガイドライン冊子の細胞診の項の執筆協力に関して、細胞診教育講演者の平田雅彦先生と山上部会長が担当することが決定された。

3. 次回会議 開催予定

未定

以上(文責：山上哲史)